

人々が幸せになれる住環境の創造

—株式会社鹿沼工務店—

企業概要

当社は、1954（昭和29）年の創業時より、安全・安心・快適な住まいづくりをお客様に提案する建設サービス会社です。一般住宅から公共工事まで様々な工事で培ったノウハウを住まいづくりに活かします。

当社では、ISO9001とISO14001の認証登録をしており、工事の品質と環境には、特に配慮して設計と施工を行っています。そのため工事の価格は決して安くはありません。「自然素材」にこだわる安全・安心・快適な住まいは、ご満足いただけるものと確信しています。

私たちは、住まう人の気持ちに寄り添い、感動を分かち合える建築を提案したいと思っています。



本社屋

沿革

1954年6月(昭和29年)大貫定範により板橋区常盤台にて鹿沼工務所を創業

1957年11月(昭和32年) 株式会社鹿沼工務店へ改組

1996年(平成8年) 新社屋完成

1998年10月(平成10年) 代表取締役大貫広光就任

2001年4月(平成13年)特定建設業取得

2004年2月(平成14年) ISO9001品質マネジメントシステム(QMS)認証取得

2004年10月(平成14年) ISO14001環境マネジメントシステム(EMS)認証取得



BCP策定に取り組んだ理由

当社は、2002年に品質マネジメントシステム(QMS)と環境マネジメントシステム(EMS)の認証を取得した。EMSでは著しい環境側面を特定し、緊急事態を決定することが要求されている。難しくややこしい言葉を使用する必要は無いのでリスク管理と言い換えて対応していた。

筆者が代表をしている板橋区建設関連協会は、板橋区と防災協定を締結しているが、その有効性を更に高めるための方法を常々考えていた。

数年前にISO22301事業継続マネジメントシステムとISO31000リスクマネジメントの研修を受講した。それらの学習により、防災協定を締結している会社こそ、被災したときに、自社が少しでも早く事業復旧することが必要と考えて、BCPを構築することに決めた。

BCPは、自社の現状を認識して更に発展させるために、有効であると確信している。

策定にあたり特に注力した点

BCP策定にあたっては、文書を極力少なくしてわかりやすくすることに注力した。板橋区簡易型BCPでは、揃える文書が整理されており、また、既存資料を有効活用できるので大変やりやすかった。

当社の場合、社員が現場に出ているため社員間の連携を、また、協力会社や仕入先の存在なくしては事業継続ができないため、協力会社と仕入先との連携強化も重視した。

また、社員が災害時の対応を自分事として考えるよう、BCP策定支援の打合せには在籍する全員が参加するよう配慮した。

BCP訓練の様子



板橋区簡易型BCP策定支援事業 事例集



株式会社鹿沼工務店
代表取締役 大貫 広光

BCP策定の感想・効果

当社には、既存マネジメントシステムあるので、それらを参考にBCPを策定することで、社員に過度な負担や無理のない構築が出来たと思う。

BCPのリスク評価にはEMSの環境影響評価を含んでおり、環境だけでなく、QMS、OHSM、ISMS等に共通する企業の経営にとって必要な要素が全て含まれている。

BCPのビジネスインパクト分析とEMSにおける著しい環境側面の特定は、仕事の優先度を決めて目標を設定することと共通するところが多い。緊急事態への準備対応は、訓練或いは演習を行うことでより万全なものとなる。既存のマネジメントシステムの中にビジネスインパクト分析を組み込み各プロセスで実施する事により仕事の優先度が明確になる。

当社では、既存のマネジメントシステムにBCPが加わることにより、更に有効なマネジメントシステムになったと思っている。

事業者情報

事業者名 株式会社鹿沼工務店

本社所在地 板橋区東新町1-14-12

設立 昭和29年6月

資本金 3,000万円

従業員数 7名

代表者 大貫 広光

Tel 03-3972-3617

URL <https://www.kanumakoumuten.co.jp/>